

# 参 考 资 料

# 1 第3次広島県環境基本計画策定の経緯

## (1) 広島県環境審議会における審議状況等

| 開催日  | 審議内容   |
|--|--|
| 平成21年11月18日(水)                                 | ○ 知事が環境審議会会長に諮問  |
| 平成21年11月18日(水)                                 | ○ 環境審議会から生活環境部会及び自然環境部会へ付議   |
| 第1回<br>生活環境部会・自然環境部会<br>合同部会<br>平成22年2月12日(金)  | ○ 現行環境基本計画に基づく施策の実施状況について<br>○ 次期環境基本計画のあり方について                                  |
| 第2回<br>生活環境部会・自然環境部会<br>合同部会<br>平成22年8月5日(木)   | ○ 次期環境基本計画骨子案について<br>○ 次期環境基本計画における「施策の方向と主な施策」について                              |
| 第3回<br>生活環境部会・自然環境部会<br>合同部会<br>平成22年11月11日(木) | ○ 次期環境基本計画の主要施策の構成について<br>○ 次期環境基本計画における現状と課題、主要施策及び指標について                       |
| 第4回<br>生活環境部会・自然環境部会<br>合同部会<br>平成23年1月14日(金)  | ○ 第3次広島県環境基本計画中間まとめ案について   |
| 平成23年1月20日(木)                                  | ○ パブリックコメントの実施(平成23年2月9日まで)  |
| 平成23年1月24日(月)                                  | ○ 市町への意見聴取(法定要件)   |
| 第5回<br>生活環境部会・自然環境部会<br>合同部会<br>平成23年3月10日(木)  | ○ 第3次広島県環境基本計画の策定経緯について<br>○ 第3次広島県環境基本計画中間まとめ案に係る意見等について<br>○ 第3次広島県環境基本計画案について |
| 平成23年3月11日(金)                                  | ○ 環境審議会会長から知事へ答申   |

## (2) 広島県環境審議会委員一覧 (★印は生活環境部会委員, ☆印は自然環境部会委員)

(平成 23 年 3 月末現在)

| 区 分  | 氏 名      | 職 業 等                                       |
|------|----------|---|
| 会 長  | 岡 田 光 正  | 放送大学教授                                      |
| 会長代理 | ☆中 西 稔   | 広島大学名誉教授                                    |
| 会長代理 | ★今 岡 務   | 広島工業大学環境学部教授                                |
| 委 員  | 児 玉 信 子  | 広島県女性薬剤師会副会長                                |
| //   | ★佐々木 緑   | 広島修道大学人間環境学部准教授                             |
| //   | 鈴 木 盛 久  | 比治山大学現代文化学部教授                               |
| //   | 林 武 広    | 広島大学大学院教育学研究科教授<br>(広島大学附属東雲小学校・附属東雲中学校 校長) |
| //   | ☆福 本 幸 夫 | 帝京科学大学生命環境学部教授                              |
| //   | ★西 嶋 涉   | 広島大学環境安全センター教授                              |
| //   | ★杉 原 数 美 | 広島国際大学薬学部准教授                                |
| //   | ☆村 田 和賀代 | 県立広島大学生命環境学部准教授                             |
| //   | 浅 野 ジュン  | 中国・地域づくり交流会事務局長                             |
| //   | ★谷 村 武 士 | 広島県商工会議所連合会幹事長                              |
| //   | ☆川ノ上 千 恵 | JA広島県女性組織協議会会長                              |
| //   | ★山 本 勇 二 | 広島県漁業協同組合連合会代表理事会長                          |
| //   | ☆京 才 昭   | 広島県山岳連盟会長                                   |
| //   | ☆間 所 了   | 広島県猟友会顧問                                    |
| //   | ★宮 本 博 子 | 広島県女性医師の会                                   |
| //   | ★小 林 真 幸 | ひろしま地球環境フォーラム理事                             |
| //   | ★橋 野 俊 子 | 広島県生活協同組合連合会理事                              |
| //   | ★中 原 律 子 | 社団法人広島消費者協会会長                               |
| //   | ★百 田 正 則 | 日本労働組合総連合会広島県連合会副事務局長                       |
| //   | ☆森 川 誠 道 | 広島森林管理署長                                    |
| //   | 山 形 浩 史  | 中国経済産業局資源エネルギー環境部長                          |
| //   | ★秋 山 良 壮 | 中国地方整備局企画部環境調整官                             |
| //   | 杉 西 加代子  | 広島県議会議員                                     |
| //   | 吉 井 清 介  | 広島県議会議員                                     |
| //   | 下 森 宏 昭  | 広島県議会議員                                     |
| //   | 梶 川 幸 子  | 広島県議会議員                                     |
| //   | 栗 原 俊 二  | 広島県議会議員                                     |
| //   | 五 藤 康 之  | 広島県市長会・三原市長                                 |
| //   | ★吉 田 隆 行 | 広島県町村会・坂町長                                  |

(敬称略)

諮問文書

平成21年11月18日

広島県環境審議会会長 様

広島県知事

〒730-8511 広島市中区基町 10-52  
環境政策課

次期広島県環境基本計画の策定について（諮問）

このことについて、貴審議会の意見を求めます。

付議文書

平成21年11月18日

広島県環境審議会  
生活環境部会会長 様  
自然環境部会会長 様

広島県環境審議会会長

広島県環境審議会への諮問事項の付議について（依頼）

平成21年11月18日付けで別紙（写）のとおり諮問されたので、生活環境部会及び自然環境部会に付議します。

諮問事項

次期広島県環境基本計画の策定について

答申文書

平成23年3月11日

広島県知事  
湯崎英彦様

広島県環境審議会  
会長 岡田光正

第3次広島県環境基本計画の策定について（答申）

平成21年11月18日付けで諮問のこのことについて、別紙のとおりとすることを適当と認めます。

## 2 用語解説

### － あ行 －

#### ❖ ISO14001

「国際標準化機構」(International Organization for Standardization) が正式名称。1996 年に発行された ISO14001 は、組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善が継続的に運用されるシステム(環境マネジメントシステム)を構築するために要求される規格。

#### ❖ RDF

Refuse Derived Fuel(ごみ固形燃料)の略。ごみに含まれる厨芥・紙などを乾燥・粉砕して石灰などを混ぜ、クレヨン状に成形加工した固形燃料のこと。

#### ❖ アスベスト

石綿ともいわれ、天然に存在する繊維状の鉱物のこと。繊維が肺に突き刺さったりすると肺がんや中皮腫の原因になることが明らかになり、WHO(世界保健機関)ではアスベストを発ガン物質と断定。日本でも、大気汚染防止法(1968)により、1989年に「特定粉じん」に指定され、使用制限または禁止されるようになった。

#### ❖ エコアクション 21

ISO規格をベースに環境省が策定した、システム構築や維持費用が安価な、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム。

#### ❖ エコドライブ

二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減のための環境に配慮した運転。具体的には、駐停車時に原動機を停止する(アイドリング・ストップ)、経済速度で走る、無駄な荷物を積まない、無駄な空ぶかしをやめる、急発進・急加速・急ブレーキをやめる、マニュアル車は早めにシフトアップする、渋滞などをまねく違法駐車をしない、エアコンの使用を控えめにするなどがあげられる。

#### ❖ ESCO 事業

ESCO(Energy Service Company)事業の略で、ESCO事業者が、施設の照明や空調などエネルギー設備を省エネ型に改良転換することを提案し、設計・施工・運転管理まで包括的に提供することにより省エネルギー化を実現し、かつ、その効果を保証する事業。設備の改修費等初期投資を、省エネルギー化による光熱水費削減分で回収する。

#### ❖ FM 林

FM(Forest Management)林とは、森林吸収量の算定対象となる「平成2年以降に適切な森林整備や保護・保全措置が行われている森林」のこと。

#### ❖ LED

発光ダイオード(Light Emitting Diode)、電気を流すと発光する半導体。

#### ❖ 温室効果ガス

大気を構成する気体であって、赤外線を吸収し再放出する気体。京都議定書では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の6物質が温室効果ガスとして排出削減対象となっている。

## － か行 －

### ❖ カーボンオフセット

日常生活や事業活動において排出された CO<sub>2</sub>について、削減困難な排出量を植林など別の事業による削減・吸収によって埋め合わせ（相殺）する考え方。

### ❖ 環境基準

環境基本法第 16 条の規定に基づき、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として国が定めるもの。

### ❖ 環境マネジメントシステム

企業等の事業組織が法令等の規制基準を遵守するだけでなく、自主的、積極的に環境保全のために取る行動を計画・実行・評価するためのシステム。

### ❖ 環境ラベル

製品の環境側面に関する情報を提供するもので、1) 「エコマーク」など第三者が一定の基準に基づいて環境保全に資する製品を認定するもの、2) 事業者が自らの製品の環境情報を自己主張するもの、3) ライフサイクルアセスメント (LCA) を基礎に製品の環境情報を定量的に表示するもの等がある。

### ❖ 環境リスク

人の活動によって環境に加えられる負荷が環境中の経路を通じ、環境の保全上の支障を生じさせるおそれ（人の健康や生態系に影響を及ぼす可能性）のこと。

### ❖ 外来種

国外や国内の他地域から人為的（意図的又は非意図的）に導入されることにより、本来の分布域を越えて生息又は生育することとなる生物種。

### ❖ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の第 4 次評価報告書

平成 19 (2007) 年に発表された気候変動に関する IPCC の最新の科学的知見をまとめた報告書。

### ❖ グリーンコンシューマー

環境に配慮した行動をする消費者。

### ❖ 光化学オキシダント

工場・事業場や自動車から排出される窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) や揮発性有機化合物 (VOC) などが太陽光線を受けて光化学反応を起こすことにより生成されるオゾンなど酸化性物質の総称。

### ❖ コベネフィット型技術

環境対策（廃棄物対策）地球温暖化対策を同時に進めることができる技術。



## 2 用語解説

### － さ行 －

#### ❖ 里山

市街地等で従来から林産物の栽培、肥料、炭の生産等に利用されてきた森林。近年身近な自然として評価されているが所有者による維持管理が困難な状況となっている場合も多い。

#### ❖ 里地里山

環境省では「都市域と原生的自然との中間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域であり、集落をとりまく二次林と、それらと混在する農地、ため池、草原等で構成される地域概念」と定義。

#### ❖ COD（化学的酸素要求量）

Chemical Oxygen Demand の略。水中の有機物を酸化剤で酸化する時に消費される酸素の量で、湖沼・海域で環境基準値が定められている。この値が大きいほど、汚濁の程度も大きい。

#### ❖ J-VER 制度

Japan Verified Emission Reduction の略。登録されたプロジェクトから生じた温室効果ガスの排出削減・吸収量をオフセット・クレジット（J-VER）として認証、発行する仕組み。J-VER は、企業や個人、自治体が主体的に行うカーボン・オフセットの取組（商品・サービス・会議・イベント・自己活動等）に活用することができる。

#### ❖ 3R

リデュース（Reduce：発生抑制）、リユース（Reuse：再使用）、リサイクル（Recycle：再生利用）をいう。リフューズ（Refuse：過剰包装等の拒否）、リペアー（Repair：修理）を含めて5Rとすることもある。

#### ❖ 水源の森

太田川流域及び芦田川・沼田川流域において、県、市町等が負担金を拠出し、（財）広島県農林振興センター（水源の森会計）を事業主体として、植栽や間伐・下刈等の森林整備に対して助成を行い、森林を長伐期化へ誘導するなど、水源かん養機能の維持増進に資する水源林の整備を実施。

#### ❖ 戦略的環境アセスメント

事業計画が固まった段階で行う現行の環境アセスメント（いわゆる事業アセス）より早期の、事業実施段階（Project 段階）に至るまでの行政意思形成過程（戦略的な段階）の段階で行う環境アセスメントのこと。

### － た行 －

#### ❖ 太陽電池

半導体の一種で、光エネルギーを直接電気に変え、太陽光を受けている間だけ電気を発生する太陽光発電装置。

#### ❖ ダイオキシン類

一般的には、有機塩素化合物のポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン及びポリ塩化ジベンゾフランをまとめた略称。ダイオキシン類対策特別措置法では、これらに加えて、同様の毒性を示すコプラナーポリ塩化ビフェニルをダイオキシン類と定義している。塩素原子の数と位置により多数の異性体があり、このうち 2, 3, 7, 8-тетラクロロジベンゾ - パラ - ジオキシンの毒性が最も強く、生殖機能への影響、発ガン性や奇形を引き起こすおそれがあることなどが指摘されている。主な発生源として、ごみの焼却等により非意図的に副生成物として生成。

### ❖ 地球温暖化防止活動推進員

地球温暖化対策推進法の規定に基づき、地球温暖化対策の推進に熱意と見識を有する者の中から知事が委嘱。

### ❖ 地球温暖化防止地域協議会

地球温暖化対策推進法の規定に基づき、地方公共団体、地球温暖化防止活動推進員、地球温暖化防止活動推進センター等が温室効果ガスの削減に向けた措置等について協議を行うために設置。

### ❖ 長期優良住宅

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性、居住環境への配慮、住戸面積及び維持保全計画の各項目について認定基準を満たし、着工前に所管行政庁の認定を受けた住宅。

### ❖ 都市公園

都市公園法2条で定義されたもので、国が設置する国営公園と、地方公共団体が設置する街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、広域公園等。

## － な行 －

### ❖ 日本環境安全事業株式会社

高濃度 PCB 廃棄物の処理を行っている政府全額出資の特殊会社。

### ❖ 熱回収（サーマルリサイクル）

廃棄物等から熱エネルギーを回収すること。廃棄物の焼却に伴い発生する熱を回収し、廃棄物発電をはじめ、施設内の暖房・給湯、温水プール、地域暖房等に利用。

## － は行 －

### ❖ バイオマス

もともと生物 (bio) の量 (mass) のことだが、再生可能な生物由来の有機性エネルギーや資源（化石燃料は除く）をいう。

### ❖ パーク&ライド

都心の外周部や都市周辺部の鉄道駅等の駐車場を活用し、そこから都心部まで公共交通機関を利用すること。

### ❖ ヒートアイランド

都市化の進展に伴い、コンクリートやアスファルト等の地表面被覆の増加や緑地の減少とともに、空調機器や自動車からの排熱が増加することにより、都市部の気温が郊外に比べて高くなる現象。

### ❖ ひろしま環境の日

地球温暖化防止のため、県民一人ひとりのエコ意識の高揚を図り、実践行動を促すことを目的として、平成 22 年 6 月から毎月第一土曜日を「ひろしま環境の日」として定め、「エコドライブ・エコ通勤」、「エコな買い物」、「省エネ生活」などを呼びかけている。

## 2 用語解説

### ❖ ひろしま未来チャレンジビジョン

「将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現」を基本理念にした、新たな広島県づくりを推進するためのビジョン（平成 22 年 10 月策定）。

### ❖ 広島県グリーン購入方針

環境への負荷の少ない物品等（環境物品等）の購入に向けた本県の方針。国や地方公共団体が率先して環境物品等の購入を進めることにより、環境物品等の需要が増え、企業は環境物品等の開発・生産を積極的に行い、より多様な環境物品等をより低価格で入手することが可能となるなど需要面からの取組を促進し、環境への負荷の少ない社会を構築していくため策定。

### ❖ 広島県地球温暖化防止活動推進センター

地球温暖化対策推進法の規定に基づき、地域における普及啓発活動の拠点として知事が指定するもので、本県では平成 12 年 4 月 1 日に（財）広島県環境保健協会を指定。

### ❖ ひろしま地球環境フォーラム

広島県の県民、団体、事業者、行政が相互に連携・協働しながら、環境にやさしい地域づくりを進める環境保全推進組織。

### ❖ BOD（生物化学的酸素要求量）

Biochemical Oxygen Demand の略。微生物が水中の有機物を分解する時に消費する酸素の量で、河川で環境基準値が定められている。この値が大きいほど、汚濁の程度も大きい。

### ❖ 微小粒子状物質（PM2.5）

大気中に漂う粒径 2.5 $\mu\text{m}$  以下の小さな粒子状物質（PM：Particulate Matter の略）。肺の奥深くまで入りやすく健康への影響も大きいと考えられている。

### ❖ 福山リサイクル発電事業

広域リサイクルシステムの中核として、福山市箕沖地区において、RDF を利用し、発電や灰溶融を行う事業。

### ❖ フロン類

炭化水素に塩素、フッ素が結合した化合物（フルオロカーボン）をいう。このうち、フッ素、炭素及び塩素だけで構成されているものを CFC（クロロフルオロカーボン）といい、特にオゾン層を破壊する力の強い CFC-11 などの 5 つを特定フロンという。CFC は 1995 年末の生産全廃がモントリオール議定書によって取り決められている。CFC がオゾン層を破壊するため、その代替物として開発されたフロン系の物質を代替フロンといい、大きく分けて HCFC（ハイドロクロロフルオロカーボン、2020 年生産全廃）と HFC（ハイドロフルオロカーボン、塩素を含まないためオゾン層を破壊しない物質だが、温室効果ガスの一つ）の 2 種類がある。

### ❖ 保安林

水源かん養、土砂崩壊等の災害の防備、生活環境の保全など、特定の公共目的のために、森林法に基づいて、農林水産大臣又は都道府県知事により指定された森林のこと。

---

## － ま行 －

### ❖ マニフェスト

産業廃棄物の排出事業者が処理業者に処理委託する際、不法投棄の防止や適正処理の確保を目的に交付する管理票。

### ❖ 緑の基本計画

「都市緑地法」に基づき、市町村が策定する「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」の通称。

## － ら行 －

### ❖ レアメタル

地球上の存在量が稀であるか、技術的・経済的な理由により抽出困難な金属のうち、現在、工業用需要があり、今後も需要があるもの。又は、今後の技術革新に伴い、新たな工業用需要が予想されるもの。